

# PEACE GOURD



9条の会・養老  
会報、第13号  
2018年7月18日  
(部内資料)

”ピース・ガード” 「平和の瓢箪」

## 「加害者であって、被害者であったのです」 重い問いかけ

「満蒙開拓平和記念館」訪問記

世話人 問山 尚義

去る5月6日、岐阜県との県境に近い長野県の阿智村にある「満蒙開拓平和記念館」を訪ねました。養老から車で2時間ほど、信州らしい山の中の風光明媚な立地で、今年で開館5年になります。「満蒙開拓団」なる言葉さえ忘れ去られようとする昨今、同館には小中学校からの訪問が多いと聞き、少し救われる気分です。



長野県のこの地域（南信州伊那谷地区）は特に多くの満州開拓移民を送り出した地域です。館内には1931年（昭和6年）の満州事変に始まる開拓団の歴史のコーナー、再現された開拓団の住居の一部の展示、体験者の手記やインタビュービデオの上映、当時のポスターの展示等その他、小さなセミナールームと喫茶室も併設されています。

映画「望郷の鐘」を観ました。

同館の窓口では、この地の開拓団がたどった運命と、中国残留孤児の帰国事業に奔走された僧侶、山本慈昭（じしょう）氏の活動を綴った映画「望郷の鐘」のDVDが販売されており、その場で買い求め自宅に帰ってから鑑賞しました。

驚いたのは、敗戦が濃厚になった昭和20年5月になっても尚最後の開拓団がこの地から送られたこと。もうひとつは、日本人最初のプロサッカープレイヤー奥寺康彦氏が善光寺大僧正の役でボランティア出演されていたことでした。何か縁でもあるのでしょうか？

映画冒頭のテロップ「加害者であって、被害者であったのです」は、先行しがちな私たちの被害者意識にブレーキをかけてくれているようです。



町内下高田から養老山、象鼻山を臨む

♪ ♪ 戦後は続くよ どこまでも ♪ ♪

## 特攻の基地・知覧の旅日記（2）

上之郷の会員の近藤さんが、3月27日に家族旅行で行かれた鹿児島県知覧からのレポート、前回に続き2回目の掲載です。

家族旅行として、知覧行きに同意したものの、内心では「戦争色が濃い所へ行くのはあまり気が進まないわ。」とっていました。当日、私たちはJR鹿児島中央駅で降り、息子が運転するレンタカーで、いざ！出発です。

車窓から見える鹿児島町の町は、椰子の木が立ち並び、まるで、南国の島へ来たようでした。だんだんと目的地に近くなると、道路の両側には数多くの灯籠が並び、それらに導かれるようにして、知覧特攻平和会館に着きました。

付近一帯の公園は、満開の桜並木で、とても心が和みました。

会館の中に入ってすぐに戦闘機の飛び立つ映像が、目に飛び込んできてドキッ！と立ちすくんでしまいました。さらに足を進めると、若い特攻隊員さんの遺影がズラッとあり（特攻戦死された隊員さんは1063人、多くは17歳から20代前半のとても優秀な若者たち）

そして、展示には遺書や遺品の数々、破損した戦闘機には、体が震えました。また、視聴覚室では、語り部さんから、「最後の手紙」の朗読があり、「お母さん、お元気で・・・」これには、もう涙、涙、涙・・・でした。



そして、私が最も印象に残っているのは、結婚を約束した特攻隊員さんと婚約者の出会いから別れまでの長い長い手記です。

どうして？これもお国の為ですか。怒りを感じ、本当に胸が押しつぶされそうになりました。

私は、子供の頃、両親から戦争の怖さや悲惨さを聞いていたので、戦争は二度とあってはならないと思いつけてきましたが、今回の旅行でさらにその想いは、強いものになりました。



安心してご飯を食べて、誰かとおしゃべりして笑いあう、そんな毎日がずっと続きますように、願っています。

養老町上之郷 近藤 尚子さんより

# 満蒙開拓平和記念館

## ♪ 見学ツアーのご案内 ♪

満州事変から敗戦までの間に、国策により満州国に27万人の日本人が移民しました。しかし、敗戦直前にはソ連の参戦により多くの日本人開拓民は取り残され、引き揚げは困難を極めました。たくさんの開拓民家族が、逃避行の途中に命を落とし、中国残留孤児となりました。私たちはこの戦争の悲劇を決して忘れてはならないように思います。一緒に楽しく旅をしながら阿智村開拓団の歴史を学びませんか。

### 満蒙開拓平和記念館

長野県下伊那郡阿智村駒場 711-10 TEL/fax 0265-43-5580



期 日

**8月23日(木)日帰り**

参加費

**7500 円** (旅行当日に集金します。)

申込先

**9条の会・養老の世話人(下記)に申し込んで下さい!**

#### ◆世話人

中野一美(代表)	090-9183-0444
問山尚義	090-2348-0719
禿 憲正	090-8733-0090
佐竹 哲	090-9894-0444



※申込の際には、お名前・ご住所・電話番号をお伝え下さい。

### ◎ 旅程表

養老町 8:30 ⇒ 大垣 IC ⇒ 一宮 PA(休憩) ⇒ 小牧 JCT ⇒ 恵那峡 SA(休憩) ⇒ 中津川 IC ⇒ 馬籠宿 10:30~11:00 ⇒ そば処まごめや(昼食) 11:20~12:15 ⇒ 満蒙開拓平和記念館 13:00 ⇒ 信州つけものセンター伊那路 15:00 ⇒ 飯田山本 IC ⇒ 恵那峡 SA(休憩) ⇒ 小牧 JCT ⇒ 一宮 PA(休憩) ⇒ 大垣 IC ⇒ 養老町 18:15

◇当日は25人乗りバスで現地に行きます。よって募集は、25人定員で締め切りと致します。お早めに申込願います。養老町内の乗合場所(2カ所予定)・集合時間は参加者に後日、連絡致します。

主催 9条の会・養老



\*お問い合わせは、上記の世話人まで

## ◇今後の活動予定と各団体のイベント予定◇

★8月23日（木）午前8時半、「満蒙開拓平和記念館」見学バスツアー

場所：町内各地で参加者を乗せて回ります

主催：9条の会・養老 → 詳細は3ページに掲載

★8月30日（木）夕方から、「平和・自由・いのちをつなぐ 西濃アクション夏祭り」

場所：JR大垣駅の南口の広場 コンサートあり夜店あり

主催：もう黙っとれん・西濃アクション

★9月3日（月）午後1時30分から、大垣警察市民監視事件第7回口頭弁論

場所：岐阜地裁

### — いったいこの国はどうなってしまうのか！？ —

秘密保護法、集団的自衛権容認の閣議決定、平和安全法制（戦争法）共謀罪（テロ等準備罪）の強行、憲法9条改定への執念。自衛隊のPKO派遣日報の隠蔽、行政をゆがめた森友、加計学園疑惑、米軍辺野古新基地の建設強硬、原発の再稼働、働き方改悪、カジノ解禁法案等々。民意を無視し、主権者の国民と国会に嘘をつきとおし、事実を隠蔽する政府と高級官僚。もううんざり。でもあきらめたら何も解決しない・・・・・・・・・・・・・・・・

世話人 中野一美

### — 編集後記 —

何かおかしい戦後73年

西日本豪雨の被害の大きさに驚いています。被害の全容が未だ分からない中ですが、犠牲となられた方々のご冥福をお祈り申し上げます。しかしその最中、災害復興の先頭に立つべき所管大臣が、会期延長までした国会で、賭博（カジノ法）の審議にうつつをぬかす。

何かおかしい。

数年前に公開された山田洋次監督の映画「東京家族」で、主人公の一人を演じた橋爪功さんのせりふが思い出されます。「この国はどこで間違ってしまうんだろう」

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆  
カンパの報告

前号での報告以降更にカンパが寄せられ6月21日までに、計18名、43,000円のカンパ総額になりました。ありがとうございました。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆  
会報“PEACE GOURD”では会員さんの体験談や手記を募集しています。

文章が苦手な方には聞き取り文字起こしでも対応します。世話人までご一報下さい。

問山 尚義（世話人）



♪雨に負けぬ花♪？ いやミツバチ？  
自宅庭先にて（問山）

### 連絡先

「9条の会・養老」世話人

090-9183-0444 中野一美（代表）

090-9894-0444 佐竹 哲

090-2348-0719 問山尚義

090-8733-0090 禿 憲正

fax（問山）

0584-71-8746

E-mail（問山）

toiyama@ninus.ocn.ne.jp